

令和元年度 堅田高等学校 第1回学校評議員の会が開催されました

日 時：令和元年6月13日（木）  
14：30～15：20 授業参観  
15：30～16：30

会 場：堅田高等学校 校長室

<参加者一覧表（敬称略）>

学校評議員5名

西 隆司 寺田 佳弘 東 邦夫 川中美智代 谷川 尚己

本校関係者8名

藤支 良明（校長） 小野 和憲（教頭） 藤田 恭敏（教務主任）

正木 幸子（進路指導課主任）

大西 基彦（第1学年主任） 岡崎 聡司（第2学年主任） 善村 光良（第3学年主任）

欠席者：青井 清昭（生徒指導課主任）

<次 第>

1 校長挨拶

2 出席者の紹介 学校側：自己紹介、委員：自己紹介

3 学校の現況と課題について

- (1) 学校経営方針について ……校長より
- ・求める生徒像
  - ・重点目標・主な取り組み

- (2) 指導方針、重点目標について ……各分掌より
- 学習指導について……教務課

- ・落ち着いた雰囲気で行われている。
- ・各時限の予鈴で入室し、授業の準備にあたる習慣が確立されている。
- ・できたという達成感の得られる授業やわかる授業を工夫する。今回のような参観、公開授業では、生徒だけでなく教員にも緊張感がある。授業改善に向けての取り組みをしていきたい。
- ・授業アンケートの効果的な活用。
- ・新しい教育課程について検討。先日、2020年度入学生の教育課程について決定した。2022年度新学習指導要領実施にともない、週の授業時間数を31時間にする。早朝補習は発展的解消を予定している。

生徒指導について……教頭

- ・「あじみ指導」（挨拶の励行、時間を守る、身だしなみを整える）を徹底させている。
- ・基本的な生活習慣の確立をめざす。

- ・人権教育としていじめは許さない姿勢を示している。
- ・健康面への対策として、AEDの講習会を実施する。後援会・同窓会・PTAの支援でAEDを増設する予定。

#### 進路指導について・・・進路指導課

- ・生徒一人一人の進路希望の実現。きめ細かに指導し、多方面に渡る進路に対応する。学年ごとに進路行事の設定。3年間を見通した指導体制で取り組む。
- ・大学進学希望者が増えてきた。就職志望者は公務員を含めて40人程度になっている。就職は求人が好調。結果も良好。
- ・新学力テストの対策や課題について検討していく。

#### (3) 生徒の学習状況や生活状況について・・・各学年より

##### ①第1学年について・・・学年主任

- ・おおむね順調。あじみ指導の徹底。
- ・人間育成として、目配り、気配り、思いやりを大切にさせている。
- ・学力補習を随時行い、学力向上に努めている。
- ・インフルエンザが少しはやっている。

##### ②第2学年について・・・学年主任

- ・年度末転学2名。現在198名。
- ・修学旅行（北海道）への準備。体育祭に向けて生徒が自主的に取り組んでいる。
- ・1年生で出来ていたことは継続して出来るように声をかけている。

##### ③第3学年について・・・学年主任

- ・現在191名。
- ・おおむね自分の進路をしっかりと見つめている。
- ・自習室を使っての自学、就職公務員の勉強など自分のペースで努力している。
- ・進学関係の書類の指導を教師に自発的に依頼するなど進路に対する意識の高まりも感じられる。

#### (4) 入学者選抜について・・・教頭より

志願者倍率の推移の分析。学力層は上昇傾向にある。中学校訪問にて広報活動に努める。体験入学の実施。魅力ある学校の発信。スポ推の実施方法と詳細の準備が課題。

#### (5) 学校評価と改善策について・・・教頭より

力強いエールと受け止めている。

#### (6) その他

部活動の実績、近畿大会や全国大会に出場しているクラブの紹介。

#### 4 校務運営に係わる意見交換

- ・学校評議員からの提言等

【学校評議委員からの主な提言】

○：学校評議委員の提言（意見）や質問

●：学校側の発言

○：1年生のクラス。授業に関してきっちりと聞いている。あじみの成果を感じた。重点目標の「地域」についてどのように取り組まれているか、ボランティア活動などがあるのか。

●：堅田学区からの要請で行くことがある。駅前の花の植え替えボランティア・湖族祭り・吹奏楽部の依頼演奏など「地域」から依頼されてボランティアに行くことが多い。

○：3年前、堅田駅前の、熊本地震被災者への募金活動に参加してくれたサッカー部の生徒がいた。

○：授業参観では、1年4、5組では、ピリッとした雰囲気を感じた。先ほど話があった入試について募集が減になるとは、どういうことか？

●：今の中学校3年生が大津市で80人減る。県では、学校数ではなくてクラス数を減らすという方向になる。9月の中3の志望動向調査が重要と思われる。

○：高島など北部の学校は大変では。中学生の南下傾向がある。

○：地元の住民に堅田高校出身の方が多い。特に野球部の人が多い。グラウンドが素晴らしい。草をひくとさらにきれい。

○：勤務する大学で、学生に、総合的な学習の内容について、どんなことをしてきたのか、大学生に聞いてもわからないという返事をする学生もいる。今後の教育環境の整備として、ICTの整備について取り組んでいくと面白いのではないかと。情報機器を取り入れていく授業ができるとうい。

●：総合教育センターが1クラス分40台を1年間貸してくれる。他校でも、公立高校では潤沢にタブレットがあるという状況ではない。

●：教科情報のなかでパワーポイントを使う授業はしている。

●：他校では、周年事業で電子黒板が入ったところもある。

○：生徒は、授業をまじめにうけている印象であった。

○：一生懸命、生徒が取り組んでいる姿が印象的だった。空調設備も整い、いい環境の中、さらに頑張ってくれるだろう。

○：体育で、体育館のスリッパをきちっと脱いでそろえているのが素晴らしい。

○：高校でのアクティブラーニングを考えていく必要がある。LGBTの生徒がいると思うので、みんなで見守れるような体制が今後必要だろうと考えられる。

●：アクティブラーニングについては、授業改善とともに課題である。LGBTについて研修を深めていきたい。

5 校長謝辞

<座席表>

